

令和6年度 第1回養老町計画審議会及び 養老町地方創生推進委員会 議事録

日 時：令和6年10月3日（木） 9時57分～11時50分
場 所：養老町役場 4階大会議室

【事務局】

皆様、こんにちは。

本日は、ご多用中にも関わらず、養老町計画審議会及び養老町地方創生推進委員会にご出席を賜り、厚くお礼申し上げます。

本日は、両会議の開催目的が共通しており、協議事項の連動性を考慮した結果、審議会及び委員会を同時開催とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

また本日、後ほどご説明いたします「養老町まちづくりビジョン後期テーマ別戦略等」の策定支援業者である株式会社ネクストアイより、説明の補助のため2名同席させていただいております。ご了承ください。

それでは会議に先立ちまして、町民憲章の朗唱をお願いしたいと思いますので、ご起立をお願いいたします。

前段を私が読み上げますので、後段をご唱和願います。

－「町民憲章」の朗唱－

【事務局】

ありがとうございました。ご着席ください。

申し遅れましたが、私は、総務部企画財政課長の中島でございます。

本日は、22名の委員様のうち17人の委員様にご出席をいただいております。養老町計画審議会設置条例第6条第2項および養老町地方創生推進委員会設置要綱第6条第2項に、本審議会および本委員会は、「委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない」と規定されていることから、本日の会議は成立しました。ただ今から、令和6年度第1回養老町計画審議会及び養老町地方創生推進委員会を開催させていただきます。

まず、はじめに養老町長 川地憲元 よりご挨拶を申し上げます。

【町長】

皆さん、おはようございます。

本日は大変お忙しい中、また午前中のお出にくいなか、このような形で養老町計画審議会、養老町地方創生推進委員会にご出席賜りましてありがとうございます。

また、6年度、7年度と2年間ということで委員の皆様方には大変お世話になりますけれども、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。

また、大宮先生はじめ県事務所の一柳副所長様にもご出席いただいております。日頃から様々な面でご支援を頂戴し、ありがとうございます。

ご存じのように、能登半島では1日の地震、そして大雨による災害ということで消防が第3班まで支援に向かわれております。今後も、県から各市町村に派遣要請が来ておりますので、随時ご支援のために職員を派遣したいと思っております。

台風18号が今発生しておりますけれども、8月の末には台風10号が来まして、区長の皆さん方には大変ご迷惑をかけましたけれども、避難指示を発令させていただきました。結果、何事もなかったわけですが、空振りに終わっても町民の方々には危機感を持っていただくためにと思っておりますので、その辺はご理解をいただきたいと思ひます。

さて、本町ではまちづくりの総合的なナビゲーションといたしまして、養老町まちづくりビジョンを令和3年2月に策定しております。平成23年に自治法の一部改正によりまして、総合計画の基本構想は議会決議の必要がなくなりましたが、やはり養老町の最上位計画ですので、しっかりと今後のビジョンを見据えたまちづくりをする必要がございますので、このような計画を立てておるわけでございます。

令和3年3月に策定しましたこのビジョンも令和7年をもちましてちょうど5年が経過しますので、後期の見直しということではいろんな指標を立てておりますけれども、まずはその指標の検証をやらせてもらいながら、いろいろ町民の方々の思いも変わっておりますので、少し分量が多いかもしれませんが、アンケート調査も今まで以上に町民の方にご協力をいただきながら実施し、計画の参考材料とさせていただきますと考えています。

区長さん方には、計画のためにたくさんのアンケートを取るのとは何かかならないか、というようなご指摘をいただいておりますけれども、例えば保健センターでは今、健康よろう21のビジョンの策定・見直しを行っていますが、自殺の関係の計画をつくるにあたっては、同じ部署ということで1つのアンケートに質問を組み入れながら、なるべく町民の皆さんがたの負担を減らす形で行わせてもらいたいと考えております。養老町まちづくりビジョンは何せいろんな分野にまたがりますので、アンケートはやはり町民の意向を取るには有効な手段だということでご理解をいただきたいと思っております。

皆様方におかれましては、このような計画をつくるのに大変ご負担をかけることになろうかと思っておりますが、これまで培われたご経験等も踏まえ、様々な角度からご意見をいただきたいと思っております。本日は大変お忙しいなかご出席いただいておりますので、最後までよろしくお願ひしまして、冒頭のご挨拶とさせていただきます。

【事務局】

本日の会議から、新たに22名の皆さまに委員を委嘱させていただきます。本来ならばお一人ずつご紹介させていただき、委嘱状をお手渡しするのが本意ではございますが、お時間の都合上、お手元に配布させていただいております。何卒、ご了承ください。

続きまして、本日の資料のご確認をお願いいたします。まず、本日の会議次第がございまして、裏面に委員名簿がございまして。その下に、資料3の補足資料として、アンケート操作画面の例をご用意しております。また、委員の皆さまに事前にお配りしました資料として、

資料1 養老町まちづくりビジョン後期テーマ別戦略等策定基本方針

資料2 町民意識調査の実施について

資料3 養老町まちづくりアンケート調査票の（案）

資料4 養老町こどもアンケート設問一覧（案）

資料5 第2期まち・ひと・しごと創生養老町総合戦略の評価・検証について

資料6 地方創生関係交付金事業について

がございまして。

また、新任の委員様へは、養老町まちづくりビジョンと、養老町人口ビジョン（改訂版）第2期まち・ひと・しごと創生養老町総合戦略の冊子を事前に配布しております。皆さま、お手元にお揃いでしょうか。

方が一、資料がないようでしたら、挙手にてお知らせください。

では、これより協議事項に入ります。次第に基づき、順次進めてまいります。

なお、議事録作成のため、本日の会議は録音させていただきますのでご承知おきください。

(1) 計画審議会会長（兼推進委員会委員長）及び副会長（兼副委員長）の選任について

【事務局】

はじめに、協議事項（1）本会議の会長及び副会長の選任をお願いしたいと思います。養老町計画審議会設置条例第5条第1項及び養老町地方創生推進委員会設置要綱第5条第1項の規定では、各会議に、会長・副会長を1人ずつ置くこととなっておりますが、両会議はその趣

旨を鑑み、同時開催とさせていただいておりますので、計画審議会の会長・副会長は、それぞれ推進委員会の委員長・副委員長を兼ねるものとして選任いただきたいと存じます。

この審議会の会長及び副会長について、どのような方法で決めさせていただいたらよろしいか、委員の皆さまにお諮りします。

【委員】

指名推薦で良いのではないのでしょうか。

【事務局】

ただいま、指名推薦というご発言がありましたが、どなたかご意見はございますでしょうか。

【委員一同】

異議なし

【事務局】

それでは、会長及び副会長については指名推薦にて決定することとさせていただきます。どなたか推薦はございますでしょうか。

【委員】

現在の計画を作られた時も会長を務めてみえたようですし、知識も経験も豊富だと思いますので、岐阜大学の宮さんをお願いしてはどうですか。

【事務局】

ただいま、会長に宮康一（おおみや こういち）様が推薦されました。他にご意見のある方はございませんか。無いようですので、宮様の会長兼委員長就任について、賛成の方は挙手をお願いいたします。

【委員一同】

挙手（異議なし）

【事務局】

賛成多数ですので、会長兼委員長は宮康一様をお願いいたします。それでは、宮様、お手数ですが資料をお持ちいただいて、前の会長席へお移りいただきたいと存じます。

ここで会長より一言ご挨拶をいただきたいと存じます。宮様、よろしく願いいたします。

【会長】

皆さん、おはようございます。

ただいまご指名をいただきました岐阜大学地域協学センターから参りました宮と申します。これまでも養老町様のこういった委員会の会長等をやりくりしながら進めてきました。今回も計画審議会と地方創生推進委員会を兼ねた会長、委員長として大変恐縮しております。

この会が養老町の皆様のためにとって闊達な議論となるよう進めてまいりますので、何とぞよろしく願いします。

【事務局】

ありがとうございました。続きまして、副会長について、どのような方法で決めさせていただいたらよろしいかお諮りします。

【委員】

私の方から提案ですが、副会長は会長を補佐する必要があるのでは、会長にご指名いただいた

ら良いのではないのでしょうか。

【事務局】

ただいま、会長による指名というご発言がありましたが、他にご意見のある方はございませんか。無いようですので、賛成の方は挙手をお願いいたします。

【委員一同】

挙手（異議なし）

【事務局】

それでは、副会長については会長の指名にて決定することとさせていただきます。会長の大宮様、どなたかご指名をお願いいたします。

【会長】

それでは、僭越ながら指名させていただきます。これまで副会長のご経験があり、地域事情にも熟知されていることから、区長連絡協議会 会長の安田様をお願いしたいと思います。

【事務局】

ただいま会長より、副会長に安田澄雄（やすだ すみお）様が指名されました。安田様の副会長兼副委員長就任について、賛成の方は挙手をお願いいたします。

【委員一同】

挙手（異議なし）

【事務局】

賛成多数ですので、副会長兼副委員長は安田澄雄様をお願いいたします。安田様、お手数ですが資料をお持ちいただいて、前の副会長席へお移りください。

それでは、ここで、副会長より一言ご挨拶をいただきたいと存じます。安田様、よろしくお願ひいたします。

【副会長】

ただいま皆様のご支持をいただきまして、副会長に選出されることになりました。

養老町、1年本当に目まぐるしく状況が変わっております。皆様のお力を得て、これからどうして進めていくかということが一番大事なところでございますので、それを踏まえながら我々も一緒に頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたしまして、簡単ではございますけど、就任の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひします。

【事務局】

ありがとうございました。

ここで町長より、大宮会長に諮問書をお渡しいたします。川地町長、大宮会長、ご起立お願ひいたします。

－「諮問書」の授受－

【事務局】

ありがとうございました。

会議の性質上、町長はここで退席させていただきます。

それでは、ここからの進行は、大宮会長をお願いしたいと思います。

(2) 後期テーマ別戦略等策定基本方針について

【会長】

改めまして、大宮でございます。闊達なご意見をよろしく申し上げます。

少し用語であるとか表現が分かりにくい、そういったことも含めてご質問等ございましたらご遠慮なくご発言いただけたらと思いますので、よろしく申し上げます。

それでは議事に沿って進めてまいります。

まずは、計画審議会の協議事項ということで、協議事項の(2)後期テーマ別戦略等策定基本方針について、事務局よりご説明をよろしくお願いいたします。

【事務局】

(「資料1」に沿って説明)

【会長】

ご説明ありがとうございます。

こちらにつきましては、内部で検討されて策定されておりますので、この場では報告事項ということでご説明をいただきました。内容につきまして何かご質問等はございますでしょうか。

【委員】

基本方針を考えるに当たって、人口の減少(岐阜県内でも二番目に減少率が高い)について町としてどのような設定をするのか、人口減を踏まえ、これから5年後、10年後の税収をどのように見込むのか。計画の見直しをするためには、この辺りをしっかり考えていかないと話が進まんと思う。前は、いい加減な設定にしてしまった、2万8,000か2万9,000ぐらいでいいやろうという座長の意見で進めたが、総務省が出しているようなデータではなく養老町としてはこれだけこの辺が減りますよと分かっているはずで、人口が増えること絶対はない。税収についてもある程度ことは税務課が調べれば分かると思うが、これから極端に税収が増えることはないと思う。そういう資料をそろえてもらって、計画にこういう税収だからいろんなことを見直しましょうという提案をしないと、私は駄目。絵に描いた餅では話にならない。現実に、5年、10年、この町は人口が減るからと、いろんな施設の統廃合を今やっている、学校の話もある。全てに、そういうことが関わることだと思う。

【会長】

ご指摘ありがとうございます。

ただいまのご質問に事務局から何かありますか。

【事務局】

すみません、ありがとうございました。

人口減少につきましては、総合戦略の見直しの中で新たな人口ビジョンをつくります。令和2年に実施されております国勢調査の結果も出ておりますし、それを基にした推計もございますので、それらを基に町の人口ビジョンを改訂する予定で、今後の人口の推計についても資料としてお示ししたいと考えております。

【委員】

税収のほうは。

【事務局】

これまでの過去の推移と今後の人口の年齢構造等も参考にさせていただきながら、どれだけ正確に出るかというところはありますけれども、ある程度の数字のほうは推計したいと思えます。よろしく申し上げます。

【委員】

やっぱりベースが決まらないことには投資できないし、人口が減る中で今までの組織でいいのかという問題もあり、お金がなければできないということもある。その辺りしっかりと把握した上で計画を策定してもらいたいと思います。

【会長】

ご指摘ありがとうございます。

皆様もご存じかと思いますが、地方自治体においては地域から得られる税収以外にも国からの交付金であるとか諸々もありまして、一概に税収のみだけで考えにくい所もありますが、ご指摘のように、財源を踏まえた今後の未来ビジョンというのもまた重要な要素になろうかと思っておりますので、それを踏まえて考えていただきますようよろしくお願いいたします。

ありがとうございます。では、そのほかご質問等あれば。

【委員】

今、他の委員が質問したことと関連というか同じような質問で、前回も何回か言った記憶があるんですけども、養老町は人口が減って税収も減っていく、それが当たり前のことなんです。ところが抜け落ちてるといいますか、総務省の予想で、養老町の人口は1万5,000人になるよと言っているのに、養老町の計画では2万2,000人だとか、2万5,000人だとか、はっきり言えばごまかしたいなことをやっているんです。それで実際に税収があるのかどうか。今、大宮先生がおっしゃったように、総務省からの補助金はあるんですけども当然人口が減れば税収は減ります。

実は、私、高田中学校の同窓会長をやっているんですけども、今1学年が大体120人ぐらいですね。たしか、去年養老町で生まれたこどもは80何人なんですよ、養老町全部です。それを例えば高中と東中に分けると40人になっちゃうんです。小学校では一体何人になっちゃうのか。その辺の計算をせずにいろいろ計画だけつくっても現実的ではないと思う、野寺委員が言ったように、もう少し町の計画をシビアに考えないといけない時期に来ているんじゃないかなというふうに感じます。

【会長】

ご指摘、ご質問ありがとうございます。

ただいまのご指摘については、何か事務局からございますか。

【事務局】

企画財政課の中島でございます。

先ほどの人口や税収については、まずは次回なるべく正確な数字をお出しした上で、この会での協議が前向きなものになっていくようにさせていただきたいと思っております。

学校につきましても、今教育委員会のほうで学校の在り方検討委員会というのを立ち上げまして、将来の学校の在り方について協議が始まっておりますので、その動向も踏まえて計画を考えてまいりますので、その点についてもまたここで協議をいただければと思います。

人口の減少については、一応推計に基づいたものと、それから国勢調査の結果を踏まえましてどの程度養老町の政策が成果を上げているかということも併せてご検討いただきたいと思いますので、皆様のご協議をよろしくお願いいたします。

【委員】

実は先日、大垣市の教育長にちょっとお話を伺ったんですけど、知ってみえる方も見えると思いますが、上石津学園の創設にあたって全ての学校を統合するという話のなかで、どういう計算をしたのか、小学校と中学校と全て一貫教育になるという。ああいうやり方を養老町も将来的には考えないとどうしようもなくなるんじゃないかという気がするんですけど、教育委員会の方は今日みえないですが、その辺はいかがなんでしょうか。

【会長】

ありがとうございます。

大変恐縮ですが、この場は大きな策定のビジョンに係わることを検討する場ですので、個別具体的なところはまた具体的な計画を立てた上で進めていきたいと思っております。まず、義務教育は学校の話ですよね。各地でいろいろとやられつつあるように聞いておりますが、義務教育の学校について、何か今の時点でありますか。

【事務局】

上石津学園の小中一貫校のような形の進め方も含め、学校の在り方検討委員会の中では、統合がいいのか、今のまま継続するのがいいのかというようなことが協議されると聞いておりますので、その結果を事務局としても吸い上げながら、また皆様のほうにご提示していきたいと、そのように考えております。よろしくお祈りいたします。

【会長】

後期テーマ別戦略等の今後のやり方の体制であるとか、そういったお話は具体的なお話のときにご質問いただけたらいいかなと思っておりますので、大変申し訳ありませんけれども、よろしくお祈りいたします。

では、続きまして協議事項（3）養老町まちづくりアンケートの実施についてと、あと関連しますので、協議事項（4）子どもアンケートの実施について、ご説明いただけると幸いです。お祈りいたします。

（3）養老町まちづくりアンケートの実施について

（4）養老町子どもアンケートの実施について

【事務局】

（「資料2」「資料3」「参考資料」「資料4」に沿って説明）

【会長】

ご説明ありがとうございます。

今回、まちづくりアンケート、子ども向けのアンケートの2つにつきましては審議事項ということで、ここで皆さんのご承認をいただいて実施をしたいというふうに思っておりますので、積極的にご質問等、ご意見等がございましたらご発言をお願いいたします。

【委員】

アンケートで、その他という形で自由にお書きくださいという所が子ども向けアンケートには何もないというのが一つ。子どもたちに夢とか、何をしたいとか、目標とか、何か書かせるのと、書かせるというのは言葉が悪いけれども、思っていることを何か書いてもらえれば、低学年は無理にしても、高学年なら、ある程度夢とか何かあると思う。一般の方にはあるので、子ども用のアンケートにも書いてもらったかどうかと思います。

【会長】

ご質問ありがとうございます。

ただいまのご指摘につきまして事務局からお祈りいたします。

【事務局】

ご指摘いただきましたとおり、お子さんの思いであるとか、将来の夢とか、目標とか、そういったものもご自由に書いていただくような設問を最後に加えさせていただきます。ありがとうございます。

【会長】

ありがとうございます。

こども向けアンケートにも自由記述の欄を設けるということです。いろんな思いを直接書いていただくことも必要というご指摘だったと思いますので、確かにそうですね、自由記述ならば書ける子書けない子がいるかとは思いますが、書ける子についてはたくさん書いていただいたほうがより具体的な情報が得やすいかなと思います。ありがとうございます。

では、そのほかご質問などございましたら。

【委員】

養老町スポーツ連盟のほうからちょっと、中学生あたりに対する部活動の考え方、要するに地域移行ということで、部活動は事実上なくなっていくんじゃないかという懸念もありまして、中学校生徒の方からどんなことを思っているかというところが何か一つ欲しいのかなというふうに考えております。

先ほどから部活動の関係でいきますと、現在地域に移行中ということで、幾つかの部活動が既に廃部という状態になっております。その中で生徒がどんなふうに考えているのか、いわゆる部活動以外に地域のクラブチーム、あるいは営業として取り組んでいるクラブチーム、そちらのほうに所属して運動、あるいは文化活動しているという生徒さんがかなり増えてきているという状態の中で、今後の部活動に対する生徒さんの考え方、不安に思っている生徒さんもかなりいるわけでございます。私としては、不安に感じている、あるいは地域クラブに期待しているというようなことを具体的に盛り込んでいただけるとありがたいのかなと思います。以上です。

【会長】

ご指摘ありがとうございます。

ただいまのご指摘につきまして、事務局お願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

先ほどご質問をいただきまして、設問の最後にお子さんにも自由記述の欄を設けるということで、そちらのほうで記載をされるお子さんもお見えになるかもしれませんが、ご質問の内容は部活動にかなり特化した設問ということで、今回が、お子さんの暮らしの中の幸福度とか、暮らしの満足度とかというところが主な設問になりますので、今ご指摘いただきました質問内容につきましては教育委員会のほうに申し送りをしまして、そちらのほうで個別に実施するアンケート調査の中で盛り込めないかどうか協議させていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

【会長】

ありがとうございます。

これは個人的な意見になりますが、部活というくくりというか、地域でのスポーツであるとか運動といった機会がきちんとあるかどうかといった質問になろうかというふうに個人的には思います。それに対するスポーツであるとか、文化的な活動を学校も含めてこどもたちが体験する機会があるかどうかという質問が必要ではないかなと思った次第です。もちろん教育委員会、学校様のご意向もあろうかと思いますが、ご検討いただければありがたいです。

ありがとうございました。

そのほか、ご質問等あれば。

【委員】

質問も兼ねてなんですけれども、今こどもにアンケートを取るときに必ずあるものであればあれなんですけど、1番目のあなたについてというところなんですけど、性別を教えてくださいというところで、男性、女性、どちらでもない、答えたくないとあるんですが、別にどちらで

もないというのは要らないような気がするんです。答えたくないでいいのではないかと思うんですけれども。

【会長】

ありがとうございます。

これは、私から少しお答えを。割と一般的な流れであるとか、世界的な視点からすると、どちらでもないというくくりがあって、プラス答えたくない、両方提起をするのが最近一般的な流れですね、ノンバイナリーという考えになります。なので、中学生から小学生までいますが、ご自身の判断でというのが一般的な考え方と私は解釈していますが、いかがでしょうか。

【事務局】

事務局といたしましても、会長が言われたような形でご了承いただきたいと思います。ご理解をお願いします。

【会長】

大変貴重なご指摘ありがとうございます。

では、そのほかご質問等ございますでしょうか。

【委員】

集計結果はどのような形で公開になるのか、非公開にするのか、どのような形ですか。

【会長】

ありがとうございます。

では、事務局、お願いいたします。

【事務局】

すみません、失礼しました。集計したものは報告書としまして、次回以降、会議の段階で準備ができているところで、委員の皆様にはまずお示しをさせていただきたいと思います。その上で、町のホームページ等で公開をしてみたいと考えております。当然、アンケートをいただいた個別の方は特定できないような集計ということになります。

【委員】

基本的には、ここの委員と住民も知ることができるということですね。

【事務局】

はい。

【会長】

ありがとうございます。

ちょっと私から簡単に質問なんです、アンケートを住民に無作為に4,000人の方にお送りするという、小・中学校ですと大体皆さんにということですが、住民向けの回収率についてはどのぐらいを目指していらっしゃいますか。

【事務局】

回収率につきましては、まずこどもアンケートのほうは、学校のほうを通じまして先生のご協力をいただいて、学校のタブレット端末で皆さんに回答いただくということになりますので、特別な事情がない限りは100%に近い回答率と見込んでおります。

まちづくりアンケート、18歳以上のアンケートにつきましては、前回の調査がおおよそ五十数%で6割を切る回答率でしたので、可能であればそれに近い5割という数字は目標にしたいと考えております。

【会長】

ありがとうございます。
そのほかご質問等あれば。

【委員】

すみません、ちょっと私の読みが浅いかもかもしれませんが、アンケートを取る方の年齢ですけれども、15歳まではこどもアンケートということで、16歳とか17歳の高校生あたりの人の考えはどこで拾うのかなというのを教えてください。

【会長】

ありがとうございます。
ただいまのご質問についてよろしくお願ひします。

【事務局】

高校生の年代につきましては、アンケート調査ではないですが、今後実施して参りますワークショップのほうで、町内の高校に大垣養老高校がございますので、高校へ依頼をしまして、高校生の方にご参加いただいでご意見を聞けるような機会を設けたいと考えております。

【会長】

ありがとうございます。
18歳以上のアンケートのところには高校生も含まれるということで、ここは問題がないという考え方でよろしいですかね。

【委員】

そうですね。ありがとうございます。

【会長】

18歳以上は成人ということで、そのくくりということでご理解をいただきました。
高校生は個別に高校さんとの話の中で、ご意見であるとか、ご意向を聞いてくるといった方向で意見を収集するというございます。
そのほか、ご質問などございますか。

【委員】

事務局にお願いしたいんですけど、このアンケートについて、これは先に周知されますか。
町のホームページに書いてあったりするわけですけど、知らなかったら見ませんよね。こういうアンケート出しますのでご意見等があったら多くの方に回答していただきたいという周知、それは回覧でも何でもいいんで出していただければ、それを見て書いて出そうかという場合もあろうかと思ひます。それだけちょっと事務局にお願いしたい。

【事務局】

事前に周知するような方向で対応してまいりたいと思ひます。よろしくお願ひします。

【会長】

ありがとうございます。
確かに、事前にアンケートを実施するというごことを周知していれば、地域の方々も心構えもありますし、実施をしたということであれば、アンケートの対象じゃなくても意識を持てただけ。事前の通知は重要かなと思ひますので、よろしくお願ひいたします。
そのほか、よろしいでしょうか。

【会長】

では、幾つかご指摘等がございましたので、検討しつつご意見が反映されるよう検討いただく形になりますので、よろしくお願ひします。

では、このまちづくりアンケート、こどもアンケート、皆さんのご指摘を踏まえてということで修正する可能性もあるという前提にはなりますが、実施してよろしいか御承認を得たいと思います。賛成の方は挙手をお願いいたします。

【委員一同】

挙手（異議なし）

【会長】

皆様のご賛成ご賛同をいただきましたので、アンケート実施が承認されました。ありがとうございます。では、適切に実施いただくことを事務局にはお願いしたいと思います。

では、ここまでが計画審議会です。続きまして、地方創生推進委員会の協議事項ということで協議事項（5）第2期まち・ひと・しごと創生養老町総合戦略の評価・検証について、資料5についてご説明をよろしくお願ひいたします。

（5）第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価・検証について

【事務局】

（「資料5」に沿って説明）

【会長】

ありがとうございます。

ただいまのご説明は昨年度の実績を中心にご報告をいただきましたが、これについてご質問等ございましたら挙手をお願いいたします。

【委員】

6ページの未来を担う人づくりのところなんですけれども、養老町まちづくりビジョンで未来を担うひとづくりでは、戦略3で質の高い教育のところの重要目標達成がこの生涯学習機会への参加申込者数になっていて、令和12年の目標値が3,300人となっているんですが、これは多分年々減っていくのではないかと考えられます、こちらはどのように今後されていく予定でしょうか。

【会長】

ご質問ありがとうございます。

では、事務局、よろしくお願ひします。

【事務局】

総務部長の川口と申します。

今の委員の質問でご確認なんですけど、年々減っていく上でどうするかというのは、指標の目標値をどうするかという話なのか、この事業に対してどうやっていくのかということか、ここでお答えできるのは指標をどう設定するのかということではないのかなと思います。生涯学習の事業をどうするかという話はまた個別の話で、教育委員会に対する意見になってくるので、その整理だけお願ひします。

【委員】

目標がそれになっているので、この未来を担う人づくりの戦略としてこの生涯学習をこのまま目標の1番に掲げるのかということなんですけど、町としては、引き続き重要であるという

考えでここに掲げられているものなのか。

【事務局】

まちづくりビジョンに上がっておりますので、委員さんがおっしゃるように、生涯学習機会の参加ということは大変大事なことだと思っています。

次の戦略で、引き続き数値として持つていくのかというところと目標値の設定というところはきちっと見て、達成できないような目標数値を上げてても何もなりませんので、指標の作り方をもう一回再度検討していくべきかと思っております。

【会長】

ありがとうございます。

生涯学習の機会は町としての重要な項目として掲げていて、数値の拾い方であるとか、目標設定を見直すということです。今後、改めて検討していただくということで進めていただけたらと思います。

そのほか、何かご質問等ございますでしょうか。

【委員】

2つあります。これは直せということではないと思いますので、きっかけになればいいと思います。1つは、12ページの未来を担う人づくりの中で、「ふるさと養老」テキストを活用すること、文化、伝統に触れるとあるんですけども、現実、私、高田まつりの実行委員会をやっているんですけども、地域の伝統の祭り等が引き継げない。人口減少でこどもが少なくなりヤマの曳き手がない状況であっても中学生が職場体験には来る。地域を守っていくうえで、養老のいい伝統芸能を守ることは大事で、職場体験はその後で私はいいいと思っている。

もう一つは、20ページの西濃圏域の連携なんですけれども、私がいつも言っているのは、西濃地区はインフラがかなり整備されています。鉄道もあるし高速道路もある。周りの交流人口を増やすことによって養老もよくなると思うが、一市町村だけが頑張っておっても駄目で、オンデマンドバスの何かで他の市町村と連携することでもっと利便性が上がるし、いろいろ改善できると思います。

一応西濃でやっておられるんですけど、今若い首長に替わりましたので、西濃圏域でできる話だと思います。例えば高速道路の有効な利用方法は、我々商工会が思っておるのは、定額で乗り放題があると思いますが、西濃圏域で6つも7つもスマートインターチェンジがあるのだから交流人口を増やして商業を促す、都会から来てもらって買ってもらうこと。一市町村だけでは駄目で、西濃圏域で6つも7つもスマートインターチェンジがあるのだから乗り放題にして、お客さん呼び込むという方法もある。養老鉄道の存続もそうなんですけれども、これはやっぱり首長の仕事で、何年間にわたってやらないといけない。その辺りも頭に入れていただきたいなと思いました。以上です。

【会長】

ありがとうございます。

では、ただいまのご指摘に対して事務局よりお願いいたします。

【事務局】

企画財政課の中島です。

まず1点目の伝統芸能の重要性については、事務局のほうも理解しておりますので、またこの会議の中でも十分に議論していただけますように、考えていきたいと思っております。

西濃圏域の連携につきましても、これまで以上に重要になってきているということで、最近では副市長や副町長の新しい広域連携会議なんかもできてきておりますので、そういった場での協議内容も踏まえつつ、まちづくりビジョンに盛り込む内容を検討してまいりたいと思っております。

【会長】

ありがとうございます。

では、お時間もそろそろ迫ってまいりますので、もしあればもう御一方ぐらい資料5についてのご質問を受け付けたいと思いますが、いかがでしょうか。

－意見なし－

【会長】

ありがとうございます。

では、また次にご質問があれば事務局等にお知らせいただけたらと思います。

続きまして協議事項の6. 地方創生関係交付金事業について、事務局よりよろしくお願いたします。

(6) 地方創生関係交付金事業について

【事務局】

すみません、引き続き私のほうでご説明させていただきます。

ご説明させていただく前に、資料の訂正のほうがございます。資料6の3ページのほうをお願いいたします。前段から中段にかけてK P Iの一覧表がございますが、こちらの一番右の列、実績値の欄をご覧ください。一部このK P Iの集計に誤りがございましたので、訂正させていただきます。

まず、上から7つ目、オンデマンドバスの利用満足度 ポイントとございますが、こちら3. 1とございますが、正しくは2. 8でございました。

続きまして、その2つ下、スタンプラリー機能の満足度が3. 0とございますが、正しくは2. 8でございました。

続きまして、その2つ下、ヘルスケアサービスの満足度が3. 0とございますが、こちらも3. 0ではなく、正しくは2. 9でございます。

最後に一番下、公的認証を利用した銀行口座からの即時チャージの満足度、こちらが3. 1とございますが、正しくは2. 8でございました。

以上4点について訂正させていただきたいと思います。申し訳ございませんでした。

【事務局】

(「資料6」に沿って説明)

【会長】

ご説明ありがとうございます。

これについては、改めて詳細な評価・検証があるということでもいいですかね。

【事務局】

資料3の「養老P a y」を活用したSmart Town YORO Project、主に養老P a y 関連の事業に関しましては、別の機会で評価・検証を行いたいと思います。

【会長】

ありがとうございます。

少し暫定的な数値もあるかもしれませんが、資料6についてご質問のある方は挙手をお願いします。

【委員】

商工会関係で養老P a y をせっかくやっていたいただいておりますが、今後、国の補助金がな

くなった場合、どういうふうにやっていくのか。今は補助金をもらっておるもんでいいんですけども、手数料自体がP a y P a yでもそうですけど、初めのうちはゼロ%で、それが3%になってくる。そういうところも含めて補助金をもらっておる間はいいいけど、その後も継続してやっていける、そういう考えや見通しはあるのか。それを考えながらやらないと、風呂敷だけ広げて後が収拾できなくなるため話をしました。

【会長】

ありがとうございます。

では、ただいまのご指摘につきまして事務局よりお願いします。

【事務局】

委員さんがおっしゃるとおりでございます、大きく風呂敷を広げ過ぎるというのも身の丈に合っていないということになりますので、我々で答えられる話としては、財政を踏まえながら適正な運営をしてください、していきましようといったところになります。

評価につきましては、先ほど言ったように、次のほかのところの部分になってきますので、これをどういうふうにもた次の展開へ持っていくのかということところは次の会議でということになってくると思いますが、町の思いとしては、委員さんがおっしゃられるところと同じです。

隣の大垣市をはじめ、同じプラットフォームを他の市町村でも使っているの、展開とかができるのか、広域でやれるのかとか、いろんな方法があると思います。それは、産業観光課のほうで考えることなんですけど、そういったいろんな方法を考え、決済だけではなく、健康のほうにも、オンデマンドバスもつなげてみたというところで、利用者増のためにいろんな手を打っているところですが、そういったものとは別にほかの方策もできるんじゃないかと、身の丈に合ったといったところをやっていきたくは私と思っています。担当課でも考えていると思いますので、そういったところで今日のところはご勘弁いただきたいなと思います。

【委員】

ありがとうございます。

大きな時代の流れは分かるけれども、そういうのは合わせてやらないと、最悪は風呂敷だけ広げ過ぎては後が大変になることだと思いますので、しっかり考えておいてください。

【会長】

貴重なご指摘ありがとうございます。

そういった町民の方々のご指摘であるとかご意見というのがとても重要になると思いますので、そういったものを生かしながら検討をお願いします。

それでは、私から単純な質問です。養老P a yを生かしたというところで、満足度のポイント3.0とありましたよね。これは単純に何点満点なんでしょうかね。

【事務局】

失礼いたしました。5点満点で評価を行ったと伺っております。

【会長】

ありがとうございます。

5点満点のうちで3に近いということなので、ちょっと良いかなという感じですね。

大変申し訳ありません、そろそろ12時ですので、またこれにつきましては別途、ご質問等あれば事務局のほうにお声をお寄せいただけたらと思いますので、何とぞご了承をよろしくお願いいたします。

では、続きまして協議事項7. その他でございますが、その他について事務局、何かございますか。

(7) その他

【事務局】

事務局からは特にございません。

【会長】

では、委員の皆様、全体として何かございますか。

—意見なし—

【会長】

ありがとうございます。

長時間にわたり大変貴重なご意見、ご指摘をいただきましてありがとうございました。

2時間近くにわたり大変お疲れさまでした。また、慎重な審議にご協力いただきまして誠にありがとうございます。

では、進行を事務局にお返しして失礼します。

【事務局】

長時間にわたり、大変お疲れさまでした。

これで、令和6年度第1回養老町計画審議会及び養老町地方創生推進委員会を閉会させていただきます。なお、次回開催は来年2月から3月ごろを予定しております。日時が決定しましたら、ご案内させていただきますのでご協力のほど何卒よろしく願いいたします。

本日は大変ありがとうございました